



ORIENTAL YEAST CO.,LTD.

BIOINDUSTRY DIVISION

6-10, 3-CHOME, AZUSAWA, ITABASHI,
TOKYO 174-8505, JAPAN
https://www.oyc.co.jp/bio/
fbi@nisshin.com

June 06, 2023

PAGE 1 of 4

安全データシート (SDS)

製品名 : G-6-P DH(Y)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名 G-6-P DH(Y) (Glucose-6-phosphate dehydrogenase)
製品コード 46528052, 46529052, 46530052

会社情報

会社名 オリエンタル酵母工業株式会社
住所 東京都板橋区小豆沢 3-6-10
担当部門 バイオ事業本部
電話番号 03-3968-1192
FAX 番号 03-3968-4863
緊急連絡先電話番号 長浜工場 品質管理室 電話番号:0749-64-2346
推奨用途及び使用上の制限 研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 区分に該当しない
健康に対する有害性 区分に該当しない
環境に対する有害性 区分に該当しない

GHS ラベル要素

絵表示 該当なし
注意喚起語 該当なし
危険有害性情報 該当なし
注意書き(安全対策) 該当なし
注意書き(応急措置) 該当なし
注意書き(保管貯蔵) 該当なし
注意書き(廃棄) 該当なし

他の危険有害性 情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
成分及び含量 Glucose-6-phosphate dehydrogenase
0.29% (重量%、平均値)
CAS 番号 9001-40-5
官報公示整理番号(化審法・安衛法) 該当なし

4. 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合 鼻や喉に刺激がある時は、鼻をかませ、うがいをさせる。
症状に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 多量の水で洗い流し、症状に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合 多量の水で洗い流し、症状に応じて医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 水で十分うがいをし、口や喉を洗い、症状に応じて医師の診断を受ける。

予想される急性症状 情報なし

遅発性症状で最も重要な徴候
症状 情報なし

応急措置をする者の保護 救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項 情報なし



ORIENTAL YEAST CO.,LTD.

BIOINDUSTRY DIVISION

6-10, 3-CHOME, AZUSAWA, ITABASHI,
TOKYO 174-8505, JAPAN
https://www.oyc.co.jp/bio/
fbi@nisshin.com

June 06, 2023

PAGE 2 of 4

安全データシート (SDS)

製品名 : G-6-PDH(Y)

5. 火災時の措置
- | | |
|-------------|----------------------------------|
| 適切な消火剤 | 制限なし |
| 使ってはならない消火剤 | なし |
| 特有の危険有害性 | なし |
| 特有の消火方法 | なし |
| 消火を行う者の保護 | 消火作業の際は、状況に応じて空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。 |
6. 漏出時の措置
- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 除去中に身体的接触を避ける。作業の際は適切な保護具を着用する。 |
| 環境に対する注意事項 | なし |
| 封じ込め、浄化の方法及び機材 | 速やかにふき取り、過剰の水で洗う。 |
7. 取扱い及び保管上の注意
- 取扱い**
- | | |
|----------|------------------------------------|
| 技術的対策 | 特別に必要としない。 |
| 安全取扱注意事項 | 取扱い時に熱をかけない。十分に換気された場所で取扱うことを推奨する。 |
| 接触回避 | 「安定性及び反応性」を参照。 |
| 衛生対策 | 取扱い後はよく手を洗うこと。 |
- 保管**
- | | |
|--------|--------------------------------|
| 技術的対策 | 特別に必要としない。 |
| 混触禁止物質 | 「安定性及び反応性」を参照。 |
| 保管条件 | 1～10℃で保存する。取り扱いや運搬時も、1～10℃で行う。 |
| 容器包装材料 | 破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。 |
8. 暴露防止及び保護措置
- | | |
|---------------------|------------------------|
| 管理濃度 | 該当なし |
| 許容濃度(ばく露限界値、生物学的指標) | |
| 日本産衛学会(2011年版) | 該当なし |
| ACGIH(2012年版) | 該当なし |
| 設備対策 | 換気設備のある部屋での取扱いを推奨する。 |
| 保護具 | |
| 呼吸器用保護具 | 必要に応じて適切な保護マスクを着用すること。 |
| 手の保護具 | 適切な保護手袋を着用すること。 |
| 眼の保護具 | 適切な眼の保護具を着用すること。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 適切な保護衣を着用すること。 |
9. 物理的及び化学的性質
- | | |
|-------------------|-------|
| 物理的状態、色 | 液体、白色 |
| 臭い | 無臭 |
| 融点・凝固点 | データなし |
| 沸点又は初留点及び沸騰範囲 | データなし |
| 可燃性 | データなし |
| 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 | データなし |
| 引火点 | データなし |
| 自然発火点 | データなし |
| 分解温度 | データなし |



ORIENTAL YEAST CO.,LTD.

BIOINDUSTRY DIVISION

6-10, 3-CHOME, AZUSAWA, ITABASHI,
TOKYO 174-8505, JAPAN
<https://www.oyc.co.jp/bio/>
fbi@nisshin.com

June 06, 2023

PAGE 3 of 4

安全データシート (SDS)

製品名 : G-6-PDH(Y)

pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に可溶
n-オクタール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他	データなし
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常の取り扱いや保管条件では安定。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	直射日光を避ける、高温を避ける。
混触危険物質	データなし
有害な分解生成物	データなし
11. 有害性情報	
製品の有害性情報	
急性毒性	データなし
皮膚腐食性／皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし
12. 環境影響情報	
製品の環境影響情報	
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

**ORIENTAL YEAST CO.,LTD.**
BIOINDUSTRY DIVISION6-10, 3-CHOME, AZUSAWA, ITABASHI,
TOKYO 174-8505, JAPAN
<https://www.oyc.co.jp/bio/>
fbi@nisshin.com

June 06, 2023

PAGE 4 of 4

安全データシート (SDS)**製品名 : G-6-PDH(Y)**

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)及び排出基準に従い適切に処理する。

汚染容器及び包装

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)及び排出基準に従い適切に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 (UN No.)

-

陸上規制情報

ADR/RID 規制なし

海上規制情報

IMDG 規制なし

航空規制情報

ICAO/IATA 規制なし

国内規制

陸上規制情報

規制なし

海上規制情報

規制なし

航空規制情報

規制なし

緊急時応急措置指針番号

-

特別の安全対策

容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法

該当しない

労働安全衛生法

該当しない

毒劇物取締法

該当しない

消防法

該当しない

航空法

該当しない

16. その他の情報

上記の記載内容は現時点で入手できるデータに基づいて作成しておりますが、全てを網羅しておりませんので、取扱いに十分注意してください。

また、注意事項は通常の実施を前提としたもので、特殊な取扱いの場合には、用法・用量に応じた安全対策を実施してください。